

第19回 ジャパンオープンハンドボールトーナメント 戦評報告書

競技日	平成26年 8月11日	試合番号	A-ほ
種別・回戦	男子・準決勝	会場	河南総合体育館

ふおっく FOG			ほんだ HONDA			得点チェック欄	
28	16	前半	6	16	前半	<input checked="" type="checkbox"/>	
	12	後半	10		後半	<input checked="" type="checkbox"/>	
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>	
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 後半			合計点	<input checked="" type="checkbox"/>	
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>	

戦評	戦評委員氏名	三岩敬孝
----	--------	------

準決勝は順当に勝ち上がり、駒を進めてきた前年度の準優勝HONDA。対するチームは前年度、前々年度3位のHC岐阜を破り波に乗るFOG、両チームとも実力があり好カードの試合となった。FOGのスロースタートにて試合が始まる。その後FOG4番酒井のシュートから6連続得点で6対1となり7分過ぎにHONDAがタイムアウトを請求する。その後も流れは止まらずFOGの3連続得点、1分過ぎにHONDA11番野嶋のサイドシュートで得点を入れる。19分FOGの5連続得点を重ね、前半終了間際HONDA7番早川がシュートを決める。前半を16対6で波に乗ったままFOGがリードして折り返す。

後半HONDA15番高木の速攻がきまりゲームが進む。その後両チーム共得点を重ねるが試合の随所でFOG1番ゴールキーパー田中が好セーブをしチームを盛り上げた。中盤以降も互いに加点しゲームが進む。前半の点差がひびき28対16で4年ぶりの決勝戦にFOGが駒を進めた。

送信担当記録委員	金丸 央
----------	------